

## 会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	伊藤 智典
担当業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公益法人として責任のある、自浄能力の機能する協会運営にむけたガバナンスとコンプライアンスの検討会にむけた準備を開始しました。</li> <li>・ JANNET(障害分野 NGO 連絡会)では、監査役(監事)として運営にかかわりながらも、国際開発分野の障害関連の情報収集ならびに、障害当事者団体や人道支援系の NGO などとの関係醸成をしながらインクルーシブ社会の実現に貢献しています。</li> <li>・ 日本障害者リハビリテーション協会では、国際委員として会議に参画し、国際的な障害者を取り巻く動向の確認など、会員の活躍に資する取り組みをしています。</li> <li>・ World Physiotherapy では、AWP region(世界理学療法連盟アジア西太平洋地区)の執行委員会の委員として AWP region の委員会会議、総会・学会に参加し、次の AWP 学会の検討、Webinar 企画・運営を通じ、理学療法士の活躍促進、専門性向上や職域を広げることで、グローバルヘルスの向上にむけた諸活動を行っています。</li> </ul>

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
1 月 10 日		第 7 回 理事会	都内
2 月 8 日		第 4 回 理事懇談会	都内
2 月 20 日		日本理学療法士連盟研修会	都内
3 月 7 日		第 8 回理事会	オンライン
3 月 18 日	○	AWP 地区執行委員会会議	オンライン
3 月 19 日	○	JANNET 役員会	オンライン
所感	<p>1 月 10 日 第 7 回理事会が開催されました。本会の定款に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。</p> <p><b>【定款第 理事会の職務より】</b></p> <p>(1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督  (3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職  (5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職</p> <p>代議員選挙、教育、日本理学療法学会研修大会、WPC2025 で政府観光局から受けたアワード、そして次年度の事業計画ならびに予算案について幅広く議論をしました。特にポイントになったことは政策提言関連で、関係各所へ働きかけた結果、国家予算が確保され、理学療法士らへの処遇改善につながる道筋をつけることが出来たことは、歴史に残る最も大きな成果の一つであると判断します。これも都道府県士会の役員らとの協働の結果であることが間違いありません。</p>		

また急性期の多職種配置に関しても、記者会見、そして各種資料の公開にいたる迅速な対応は、会長、副会長、常務理事はじめ、特に本会会館に常勤する役員らの絶え間ない努力の結果であると判断します。会員各施設においても対応のヒントにつながる公開資料の活用など、現場で功を奏することを期待しています。

2月8日 第4回理事懇談会が開催されました。

規程の見直し、業務指針、都道府県士会・連盟らとの連携の在り方、理学療法士・作業療法士教育、組織率や組織強化にむけた取り組みなどについて、かなり踏み込んだ議論をしました。本会会員の活躍につながる取り組み、そして風通しのよいコミュニケーションが促進されていきます。また元会長の不幸に際して偲ぶ会の在り方についても細やかな議論がなされました。本会、そして理学療法業界をリードした故人を偲ぶ気持ちは偽りなく、皆の心に根付いていることが確認できました。

2月20日 日本理学療法士連盟研修会が開催されました。

リハビリテーション、障害、理学療法を取り巻く諸課題の解決にむけて関係各所との連携、協力などが実っていることが確認できました。成熟した公益法人の役員として襟を正した業務の必要性を改めて感ずるところです。

3月7日 第8回理事会が開催されました。本会の定款に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。

**【定款第 理事会の職務より】**

- (1)この法人の業務執行の決定
- (2)理事の職務の執行の監督
- (3)会長の選定及び解職
- (4)副会長の選定及び解職
- (5)専務理事の選定及び解職
- (6)常務理事の選定及び解職

本会では、理事懇談会という会議を事前に持つことで、時間をとった議論をしっかりと行い、理事会で決議するという形式をとっています。今回は規程案の変更が多かったことから、比較的円滑に進みました。また元会長を偲ぶ会などの開催についても規程を作成することで今後、円滑な遂行へつなげることが確認されました。

賛助会員には理学療法業界以外の大手企業らから加盟の意向が確認されており、中長期計画における安定的な収益、運営基盤につながることを期待されます。

3月18日 AWP 地区執行委員会の会議が開催されました。伊藤は会員から確認がきている AWP 地区学会の参加申込の費用支払いの件などについて、学会事務局の担当者らへ早期の解決を依頼しました。また AWP 地区における加盟組織のコミットメントについても課題と、改善にむけた取り組みの必要性を共有しました。国を超えた連携、協力により、会員メリットの見える化を進めていきたいと考えます。

	<p>3月19日 JANNETの役員会が開催されました。今年度の事業を振り返り、6月の総会にむけた意見交換を行いました。JANNET中期計画の検討も重要な課題として取り組んでおります。月末にはデフリンピアンが登壇する「とりのこさないカフェ」というイベントが開催され、100名ほどの参加を得て盛会に終わりました。スポーツ関連、そして開発関連でも日本の理学療法士の活動が広がるよう、各種情報収集や関連団体との連携、協力を進めてまいります。</p> <p>理事会ごとに各種事業の報告を確認すると、理学療法業界にむけた追い風が吹いてきていることが分かります。またそれにむけて役員が一丸となって、真摯に取り組んでいる姿が特に光ってきていると感じます。</p> <p>しかしながら、いまだに理学療法、理学療法士を取り巻く現状が広く、国民や関係各所に正しく理解されているとはいえない現状があります。障害がない人にとっても、また障害のある方々にとっても真に貢献できる職種であるよう、理学療法を取り巻く環境・社会・制度の改善をふまえて、各団体と協力しながら引き続き取り組んでまいります。</p> <p>ご不明点等がございましたら、どうぞご遠慮なくお問い合わせください。お時間がかかってしまうかもしれませんが、お返しさせていただきます。</p> <p>伊藤智典 E-mail address <a href="mailto:t-ito@japanpt.or.jp">t-ito@japanpt.or.jp</a></p>
<p>報告日</p>	<p>2026年4月20日</p>

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。